

職員氏名

目的: 全職員がガウンテクニックを習得する為、ガウンテクニック実施評価表を作成し  
 評価者が正しい指導・的確な評価をする事を目的とする。

H25. 10. 18作成

\* ガウンテクニックとはガウンの着脱・手洗い・手指消毒・マスク着脱・手袋の着脱とする

R1. 10. 30変更

チェック項目		実施日	／	／	／	／	／	／	／
現在のランク (受講者: 受 習得者: 習 マスター: マ)		受講							
評価者名(マスター・評価者)									
手洗い	1. 手のひら・手の甲が洗えたか。								
	2. 指間・指先が洗えたか。								
	3. 親指・手首が洗えたか。								
	4. ペーパータオルで水気をふき取り、蛇口に素手で接触せずペーパータオル越しに水を止められたか。								
着衣時	① 手袋 サイズ ポ	1. 手袋のサイズが合っているか。							
		2. 2枚目の手袋でガウンの袖口が覆えているか。							
	② ガ ウ ン	1. 裾が床に触れないように、紐を保持しながら着用できたか							
		2. 襟がガウンの中に納まっているか。 (ただし、ガウンの種類によっては省略)							
		3. 後ろ部分を合わせて紐がしばれているか。 (ただし、ガウンの種類によっては省略)							
	③ マ ス ク	1. 鼻の部分は折れているか。							
		2. ひだが下向きか。							
		3. ひだを開き顔にフィットしているか。							
	④ 順 序	1. ①→②→③→①順に着用、装着できたか							
	脱衣時	① デ イ ス ポ 1 枚 目 手 袋	1. 不潔な右手で、不潔な左手の不潔部分(外側)を持ち、手袋を外し、右手で握れたか。						
2. 清潔な左手の示指・中指を、右手の手袋の中に不潔部分(外側)に触れず、入れたか。									
3. 右手に持っている手袋をその中に包み込むようにしながら、手袋を外せたか。									
4. 左手袋を右手袋でつつみ込んだ状態で外した手袋を、そのまま廃棄できたか。									
② ガ ウ ン		1. 背面・首元の内側に指を入れ外せたか。							
		2. 右手で左手・ガウン袖の内側を持ちながらその間に左手をひけたか。							
		3. ガウンの内側に引いたた左手で右手・ガウン袖の外側を持ちながら、その間に右手をひけたか。							
		4. 上部のガウンを腹部まで、不潔部分(外側)に触れず、巻き込めたか。							
		5. そのまま前方へ引っ張り腰ひもが切れたか。							
		6. 着衣に触れない様体幹より離して内側に折り込み丸めた状態で、所定の場所に廃棄できたか。							
③ マ ス ク		1. 耳に近いゴム部分を持ち外し、そのまま他の部分に触れず、廃棄できたか。							
④ デ イ ス ポ 2 枚 目 手 袋		1. 不潔な右手で、不潔な左手の不潔部分(外側)を持ち、手袋を外し、右手で握れたか。							
		2. 清潔な左手の示指・中指を、右手の手袋の中に不潔部分(外側)に触れず入れたか。							
		3. 右手に持っている手袋をその中に包み込むようにしながら、手袋を外せたか。							
	4. 左手袋を右手袋でつつみ込んだ状態で外した手袋を、そのまま廃棄できたか。								
⑤ 順 序	1. ①→②→③→④順に脱衣、外す事ができたか。								
手 指 消 毒	1. 手のひらにまんべんなく広げ、塗ったか。								
	2. 片方の手のひらの上で円を描くように指先に塗ったか。								
	3. 手の甲・指間に塗ったか。								
	3. 親指・手首に塗ったか。								
順 序	1. 手洗い→着衣(装着)→脱衣(外す)→手洗い→手指消毒の順に行えたか。								

## 1. チェック方法

- ① チェックは○、×で記入する。 ○…できた ×…できなかった
- ② チェック項目全てに○がついて、習得とする。

## 2. 用語説明

- ① チェックとは 受講者が習得者、マスターとなる(ガウンテクニックを習得する)為、評価者、マスターが、ガウンテクニック実施評価表を用い、ガウンテクニック手技のチェックを行う事。
- ② 受講者とは 評価者、マスターより受講を受け最低1度、ガウンテクニックを通して行った者。
- ③ 習得者とは 受講者となった後、評価者またはマスターのチェックを受け、全て○の者。  
＝一連の流れを他者からの助言無く正確に遂行できる者。
- ④ マスターとは 習得者となった後、評価者よりチェックを受け全て○の者。  
＝正確かつわかりやすく受講者に指導、伝達できる者。  
また受講者の2回目意向の受講、習得者へのチェックを行う者。
- ⑤ 評価者とは 当該マニュアルの実施ができ、内容の全てを掌理し、習得者及びマスター認定ができると法人に認められた者。

## 3. 受講～マスターまでの流れ

- ① 受講を受ける。受講時はガウンテクニックを最低1度、通しで行う。→**受講者**  
↓  
受講から丸1日空ける。
- ② チェック(評価者orマスターが行う)全て○→**習得者**  
↓  
②のチェック(習得者になってから)から丸2日空ける。
- ③ チェック(評価者が行う)、全て○→**マスター**

## 3. 注意点

- ① 受講は評価者、マスターが行う。受講当日チェックは行わない。
- ③ 受講は何度でも可。
- ④ 受講者の2回目以降の受講、習得者への指導は、マスターまたは評価者が行う。
- ⑤ 習得者からマスターへのチェックは評価者が行う。
- ⑥ 例外として、3年連続しマスターとなっている職員は、受講・習得者を省略しマスターのチェックを評価者から受けることができる。

## 4. マスターと評価者のチェック

- |             |                            |   |
|-------------|----------------------------|---|
| ① マスターのチェック | いつ<br>どこで<br>誰が誰に<br>どのように | 2か月に1度 10月・1月がチェック月。<br>各施設 日時は各施設で決定する。<br>評価者がマスターに行く。<br>チェックリストを用いた手技確認と<br>マスターとしての活動状況の確認を行う。   |
| ② 評価者のチェック  | いつ<br>どこで<br>誰が誰に<br>どのように | 感染対策期間前 10月にチェック。<br>HP会議室 日時はチェック月に決定する。<br>HP感染対策委員が各施設評価者に<br>チェックリストを用いた手技確認(1人づつ)と<br>指導状況確認を行う。 |